

# 令和6年度全国学力・学習状況調査における 岡崎市立小中学校児童生徒の結果について

岡崎市教育委員会

## 1 調査分析概要（全国の平均正答率と比較して）

### （1）全体の様子

小学校においては、国語の「書くこと」「読むこと」が「できている」、「話すこと・聞くこと」が「おおむね満足できる」状況である。算数の「数と計算」「変化と関係」が「たいへんよくできている」、「図形」「データの活用」が「できている」状況である。

中学校においては、国語の「読むこと」が「たいへんよくできている」、「書くこと」が「よくできている」、「話すこと・聞くこと」が「できている」状況である。数学の「データの活用」が「たいへんよくできている」、「関数」が「よくできている」、「数と式」「図形」が「できている」状況である。

### （2）小中学校別各教科に関する問題の様子

#### 《小学校6年生》

| 科    | 調査結果から捉えられる傾向                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語   | <p><u>できている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする力がたいへん優れている。</li> <li>日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができている。</li> <li>目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力が優れている。</li> <li>登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える力がやや弱い。</li> <li>学年別配当漢字表に示されている漢字を、文の中で正しく使う力が弱い。</li> </ul>                                                                              |
| 算数   | <p><u>たいへんよくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>除数が小数である場合の除法の計算をする力がたいへん優れている。</li> <li>問題場面の数量の関係を捉え、式に表す力がたいへん優れている。</li> <li>速さの意味についてたいへんよく理解している。</li> <li>除数が小数である場合の除法について、除数と商の大きさの関係についてたいへんよく理解している。</li> <li>直方体の見取り図について理解し、かく力がやや弱い。</li> </ul>                                                                                                                                      |
| 学習状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と感じている児童の方が、正答率が高い傾向にある。</li> <li>学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると感じている児童の方が、正答率が高い。</li> <li>分からないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫することができる児童の方が、高い正答率を得ている。</li> <li>「朝食を毎日食べる」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」など、規則正しい生活を送る児童の方が、正答率が高い。</li> <li>「自分にはよいところがある」「先生はよいところを認めてくれている」など、自己肯定感が高く、承認欲求が満たされている児童の方が、正答率が高い。</li> </ul> |
| 生活状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「人が困っているときは、進んで助けている」「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と答えた児童の割合は、全国平均を上回っている。</li> <li>学校の授業時間以外の普段（月曜日から金曜日）や、土曜日や日曜日など学校が休みの日の1日当たりの勉強時間（学習塾や家庭教師、インターネットを活用した学び等も含む）は、全国平均を下回っている。</li> </ul>                                                                                                                                                                          |

## 《中学校 3 年生》

| 科    | 調査結果から捉えられる傾向                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語   | <p><u>よくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする力がたいへん優れている。</li> <li>・ 文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉える力がたいへん優れている。</li> <li>・ 文の成分の順序や照応について、たいへんよく理解している。</li> <li>・ 具体や抽象など、情報と情報との関係についてよく理解している。</li> <li>・ 必要に応じて質問しながら話の内容を捉える力がやや弱い。</li> </ul>                                     |
| 数学   | <p><u>よくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈する力がたいへん優れている。</li> <li>・ 確率を求める力がたいへん優れている。</li> <li>・ 与えられたデータから最頻値を求める力がたいへん優れている。</li> <li>・ 等式を目的に応じて変形する力がたいへん優れている。</li> <li>・ 連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表す力がやや弱い。</li> </ul>                                                                            |
| 学習状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「朝食を毎日食べる」生徒は、そうではない生徒に比べ、高い正答率を得ている。</li> <li>・ 「学校に行くのは楽しい」「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と感じている生徒の方が、正答率が高い傾向にある。</li> <li>・ 「自分にはよいところがある」「先生はよいところを認めてくれている」など、自己肯定感が高く、承認欲求が満たされている生徒の方が、正答率が高い。</li> <li>・ 「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用したか」との質問に対し、「ほぼ毎日」と回答した生徒の方が、高い正答率を得ている。</li> </ul> |
| 生活状況 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「人が困っているときは、進んで助けている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と答えた生徒の割合は、全国平均を上回っている。</li> <li>・ 放課後や週末において「部活動」や「習い事」に取り組んでいると答えた生徒の割合は、全国平均を上回っている。</li> <li>・ 「毎日同じくらいの時刻に起きている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と答えた生徒の割合は、全国平均を下回っている。</li> </ul>                                          |

## 2 岡崎市教育委員会の指導改善等の取組

- (1) 国語、算数・数学における岡崎市の児童生徒の学力と、学習環境と学力との相関関係、学校での授業や家庭での生活習慣等の改善すべき内容を詳細に把握します。
- (2) (1) の分析結果を受け、その授業改善案等を教育委員会が各学校へ伝え、必要に応じて担当指導主事等が学校訪問を行い、改善状況を確認したり、指導したりします。
- (3) 各学校で行っている「教育診断アンケート（学校評価）」を利用して、学校や教員が自己評価を行い、日々の授業の成果と課題を明らかにし、新たな授業改善の具体的な対策を立て、取り組むよう指示します。
- (4) 子供たちの生活習慣や学習環境が学力に影響を及ぼすことを、家庭や地域に周知した上で、家庭や地域と連携しながら改善を図る取組を行い、総合的な学力の向上に努めるよう、各学校に対し指示します。

## 3 備考

- (1) この調査は、子供たちの学習状況の改善を図るために参考とするものです。
- (2) この調査で測定した学力や学習状況は、特定の一部です。
- (3) 学校では、成果と課題を把握し、授業改善に努めます。
- (4) 各家庭においては、児童生徒が学習に意欲をもって取り組むことができるように、学習環境や生活習慣の充実・改善を図っていただきますようお願いします。